

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2005年12月27日から原則として無期限です。	
運用方針	<p>福井県関連株マザーファンド、内外債券マザーファンド、Jリート・マザーファンドを通じて、わが国の株式、内外の債券、およびわが国の不動産投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>各マザーファンドの受益証券への資産配分は、投資信託財産の純資産総額に対して、以下の比率を基本投資割合とします。</p> <p>福井県関連株マザーファンド 25%±5%程度 内外債券マザーファンド 50%未満 Jリート・マザーファンド 25%±5%程度</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要投資対象	当ファンド	福井県関連株マザーファンド、内外債券マザーファンド、Jリート・マザーファンドの各受益証券を主要投資対象とします。
	福井県関連株マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	内外債券マザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債、政府保証債等）を主要投資対象とします。
	Jリート・マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場している（上場予定を含みます。）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産および株式への直接投資は行いません。
	福井県関連株マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	内外債券マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	Jリート・マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	<p>年6回、1月、3月、5月、7月、9月、11月の各月の10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>繰越分を含めた利子・配当等収益には、マザーファンドの利子・配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当等収益を含むものとします。</p> <p>収益分配は、主として利子・配当等収益等から行います。ただし、1月の決算時の分配方針は、決算日に売買益（評価益を含みます。）等が存在するときは、利子・配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益として分配を行います。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>	

運用報告書(全体版)

福井県応援ファンド

第93期（決算日 2021年7月12日）

第94期（決算日 2021年9月10日）

第95期（決算日 2021年11月10日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「福井県応援ファンド」は、2021年11月10日に第95期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第93期～第95期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近15期の運用実績

決算期	基準価額			東証株価指数 (TOPIX)		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		東証REIT指数 (配当込み)		株式組入比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率				
	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	%	百万円
81期(2019年7月10日)	9,109	50	2.5	1,571.32	1.4	426.26	2.1	4,064.84	6.3	25.0	43.7	26.2	1,565
82期(2019年9月10日)	9,138	50	0.9	1,557.99	△0.8	429.09	0.7	4,358.91	7.2	25.7	44.3	26.3	1,666
83期(2019年11月11日)	9,529	50	4.8	1,704.03	9.4	428.39	△0.2	4,467.84	2.5	26.7	43.2	25.0	1,667
84期(2020年1月10日)	9,525	50	0.5	1,735.16	1.8	432.39	0.9	4,424.86	△1.0	27.2	44.1	24.8	1,608
85期(2020年3月10日)	8,769	50	△7.4	1,406.68	△18.9	436.78	1.0	3,981.30	△10.0	24.2	41.3	25.1	1,521
86期(2020年5月11日)	8,698	50	△0.2	1,480.62	5.3	432.73	△0.9	3,532.59	△11.3	24.9	40.4	25.3	1,564
87期(2020年7月10日)	8,714	50	0.8	1,535.20	3.7	446.12	3.1	3,521.95	△0.3	24.8	42.1	25.1	1,604
88期(2020年9月10日)	8,912	50	2.8	1,624.86	5.8	450.34	0.9	3,650.90	3.7	25.8	34.3	25.4	1,644
89期(2020年11月10日)	8,913	50	0.6	1,700.80	4.7	447.57	△0.6	3,678.15	0.7	27.2	40.8	25.7	1,645
90期(2021年1月12日)	9,197	50	3.7	1,857.94	9.2	449.58	0.4	3,851.16	4.7	26.9	42.0	26.3	1,681
91期(2021年3月10日)	9,466	50	3.5	1,919.74	3.3	452.87	0.7	4,126.53	7.2	27.7	42.2	26.1	1,702
92期(2021年5月10日)	9,790	50	4.0	1,952.27	1.7	455.26	0.5	4,503.65	9.1	27.0	41.6	28.0	1,643
93期(2021年7月12日)	9,964	50	2.3	1,953.33	0.1	460.91	1.2	4,800.45	6.6	27.7	37.7	26.9	1,633
94期(2021年9月10日)	9,971	50	0.6	2,091.65	7.1	461.90	0.2	4,717.66	△1.7	24.2	39.7	26.7	1,618
95期(2021年11月10日)	9,785	50	△1.4	2,007.96	△4.0	467.68	1.3	4,585.80	△2.8	27.6	40.7	26.2	1,608

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 東証株価指数(TOPIX)、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)、東証REIT指数(配当込み)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は当該日前営業日の現地終値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率、債券組入比率および投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		東証株価指数 (TOPIX)		FTSE世界国債 インデックス (ヘッジなし・円ベース)		東証REIT指数 (配当込み)		株式 組入比率	債券 組入比率	投資信託 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)			
第93期	(期首) 2021年5月10日	円	%	ポイント	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	%
		9,790	—	1,952.27	—	455.26	—	4,503.65	—	27.0	41.6	28.0
	5月末	9,815	0.3	1,922.98	△1.5	460.85	1.2	4,551.00	1.1	26.8	42.1	27.3
	6月末	9,922	1.3	1,943.57	△0.4	459.60	1.0	4,732.24	5.1	27.2	37.6	28.5
第94期	(期末) 2021年7月12日	10,014	2.3	1,953.33	0.1	460.91	1.2	4,800.45	6.6	27.7	37.7	26.9
	(期首) 2021年7月12日	9,964	—	1,953.33	—	460.91	—	4,800.45	—	27.7	37.7	26.9
	7月末	9,907	△0.6	1,901.08	△2.7	463.39	0.5	4,767.40	△0.7	22.1	38.4	27.0
	8月末	9,927	△0.4	1,960.70	0.4	462.75	0.4	4,755.00	△0.9	22.6	40.4	27.1
第95期	(期末) 2021年9月10日	10,021	0.6	2,091.65	7.1	461.90	0.2	4,717.66	△1.7	24.2	39.7	26.7
	(期首) 2021年9月10日	9,971	—	2,091.65	—	461.90	—	4,717.66	—	24.2	39.7	26.7
	9月末	9,822	△1.5	2,030.16	△2.9	459.88	△0.4	4,605.71	△2.4	23.7	39.9	26.3
	10月末	9,887	△0.8	2,001.18	△4.3	466.81	1.1	4,660.54	△1.2	27.3	40.3	26.3
	(期末) 2021年11月10日	9,835	△1.4	2,007.96	△4.0	467.68	1.3	4,585.80	△2.8	27.6	40.7	26.2

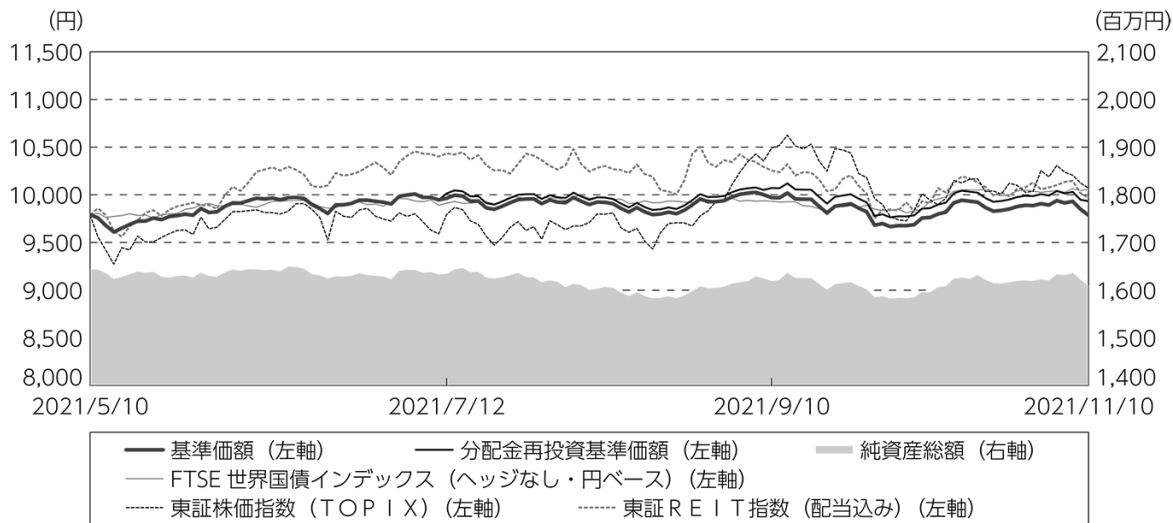
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2021年5月11日～2021年11月10日)



第93期首：9,790円

第95期末：9,785円 (既払分配金(税引前)：150円)

騰落率：1.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、東証株価指数(TOPIX)、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)および東証REIT指数(配当込み)です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首(2021年5月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

○福井県関連株マザーファンド

- ・業種配分では、ガラス・土石製品、その他製品、小売業などがプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、三谷セキサン、アシックス、Genky Drug Storesなどがプラスに寄与しました。

○内外債券マザーファンド

- ・投資国（米国等）の債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスに寄与しました。
- ・投資通貨（米ドル等）が対円で上昇したことがプラスに寄与しました。

○Jリート・マザーファンド

- ・日本プロロジスリート投資法人、大和ハウスリート投資法人、ラサールロジポート投資法人などがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

○福井県関連株マザーファンド

- ・業種配分では、電気・ガス業、陸運業、医薬品などがマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、小野薬品工業、西日本旅客鉄道、熊谷組などがマイナスに影響しました。

○内外債券マザーファンド

- ・投資国（オーストラリア等）の債券利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したことがマイナスに影響しました。
- ・投資通貨（オーストラリアドル等）が対円で下落したことがマイナスに影響しました。

○Jリート・マザーファンド

- ・ユナイテッド・アーバン投資法人、アクティビア・プロパティーズ投資法人、日本都市ファンド投資法人などがマイナスに影響しました。

投資環境

(2021年5月11日～2021年11月10日)

〈国内株式〉

国内株式市場は上値の重い展開が続きました。緊急事態宣言による経済活動の制限が続いたことや感染力の強い新型コロナウイルスの変異株(デルタ株)の感染者数が増加したことで、新型コロナウイルスによる景気停滞の長期化への懸念が上値を抑える要因となりました。2021年9月上旬には菅首相が自民党総裁選への不出馬を表明したことで、新政権の打ち出す経済対策への期待から上昇する場面もありましたが、中国の大手不動産企業の資金繰りが懸念されたことや、米連邦公開市場委員会(FOMC)で、今後の金融政策変更が議論されたことから10月上旬にかけて下落しました。作成期末にかけては、米国企業の決算が好調だったことや、衆院選で与党が国会を安定的に運営できる絶対安定多数を確保し、投資家の間で政策の持続性に対する期待が高まったことなどから、反発しました。

〈債券・為替〉

債券市場は、デルタ株の感染者数の増加や経済のピークアウト懸念等から米長期債利回りは低下基調となりましたが、インフレの高止まりを受けた金融政策の正常化期待から低下幅を縮める展開となりました。中央銀行の金融政策の正常化スタンスがより鮮明なカナダ等の長期債利回りは上昇となる一方で、緩和継続が見込まれる欧州の長期債利回りは低下となりました。

為替市場は、多くの通貨が一進一退の展開となる中、資源高を背景とした我が国の貿易収支の悪化懸念や、金融政策の差異などから米ドルは対円で上昇となりました。

〈Jリート〉

Jリート市場は、FTSEグローバル株式指数シリーズへのJリート組み入れによる資金流入や、長期金利の低下などから2021年7月末にかけて上昇基調となりました。しかし8月に入ると国内での新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、景気回復の遅れが意識されたことからもみ合う展開になりました。その後9月上旬には、菅首相が自民党総裁選への不出馬を表明したことを受け新政権への期待からJリートより日本株を選好する動きが強まったことや、長期金利が上昇したことからJリートは下落に転じました。しかし、10月に入ると分配金利回りに注目したとみられる買いなども入り再び上昇し、戻りを試す動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年5月11日～2021年11月10日)

〈福井県応援ファンド〉

各マザーファンド受益証券への基本投資割合は「福井県関連株マザーファンド」が25%±5%程度、「内外債券マザーファンド」が50%未満、「Jリート・マザーファンド」が25%±5%程度とし、当作成期中はこの範囲内で運用を行いました。

○福井県関連株マザーファンド

株式組入比率は概ね高位を維持しました。当作成期は、2021年6月末のデータに基づいた半年に一度の定期銘柄見直しで、森永乳業、第一稀元素化学工業をポートフォリオから外す一方、西日本旅客鉄道、北陸電力を新たに組み入れました。定期見直し以外では、被買収により上場廃止見通しとなったサカイオーベックスを売却したほか、株価変動などにより個別の組入比率が定期見直し時の組入比率から乖離した銘柄の比率調整などを行いました。

○内外債券マザーファンド

通貨については、相場動向に応じて、外貨の投資比率を調整しました。債券については、高位の組入比率を維持するとともに、カナダ国債からイタリア国債等へシフトしました。また、相場動向に応じて、年限別の投資配分を調整しました。当作成期におきましては、長期ゾーンの比率を引き上げる一方、中短期ゾーンの比率を引き下げました。

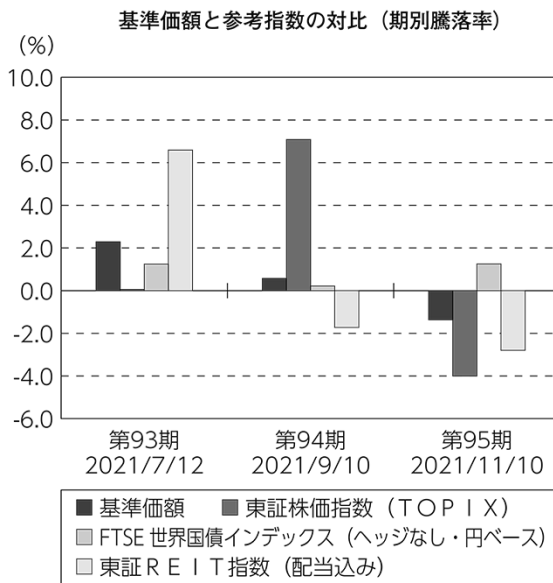
○ Jリート・マザーファンド

高位の組入比率を概ね維持しました。セクターにつきましては、当初は分配金利回りの面で割安と思われる商業特化型リートや稼働率回復期待などからオフィス特化型リートを東証の時価総額の構成比に対してオーバーウェイトとする一方、バリュエーションが割高と判断した複合型・総合型リートをアンダーウェイトとしました。その後は緊急事態宣言の再発出による業績悪化懸念から商業特化型リートの比率を下げる一方、バリュエーション調整が進んだと判断した複合型・総合型リートの比率を高めました。当作成期末では、内部成長力が低下したと判断した住宅特化型リートなどをアンダーウェイトとする一方、減配リスクが小さいと判断したオフィス特化型の一部銘柄などをオーバーウェイトとしています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年5月11日～2021年11月10日)

分配金も考慮した当ファンドの基準価額は上昇しました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としている東証株価指数（TOPIX）、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）、東証REIT指数（配当込み）はいずれも上昇しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、東証株価指数（TOPIX）、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）、東証REIT指数（配当込み）です。

分配金

(2021年5月11日～2021年11月10日)

当ファンドは、1月、3月、5月、7月、9月、11月の決算時に、原則として分配を行います。収益分配は、主として利子・配当等収益等から行います。ただし、1月の決算時の分配方針は、決算日に売買益（評価益を含みます。）等が存在するときは、利子・配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益とします。分配金額は委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

この基本方針に則り、当作成期は第93期決算、第94期決算、第95期決算において、それぞれ1万口当たり50円（税引前）、合計150円（同）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第93期	第94期	第95期
	2021年5月11日～ 2021年7月12日	2021年7月13日～ 2021年9月10日	2021年9月11日～ 2021年11月10日
当期分配金	50	50	50
(対基準価額比率)	0.499%	0.499%	0.508%
当期の収益	50	50	16
当期の収益以外	—	—	33
翌期繰越分配対象額	1,432	1,438	1,405

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<福井県応援ファンド>

「福井県関連株マザーファンド」、「内外債券マザーファンド」、「Jリート・マザーファンド」の各受益証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。各マザーファンドの受益証券への資産配分は、投資信託財産の純資産総額に対して、「福井県関連株マザーファンド」が25%±5%程度、「内外債券マザーファンド」が50%未満、「Jリート・マザーファンド」が25%±5%程度を基本投資割合といたします。

○福井県関連株マザーファンド

福井県に本社または本店がある企業（戦略Ⅰ）、福井県に工場・店舗等があるなど福井県の発展と共に成長が期待される企業や福井県と関わりが深い企業等（戦略Ⅱ）の株式を選別し、戦略Ⅰと戦略Ⅱを組み合わせるポートフォリオを構築していきます。銘柄入替えや投資比率の見直しは半年に一度行い、それ以外は原則として買い持ち戦略を基本とし、資金動向や株価変動に対応して組入比率の調整売買を行う方針です。ただ、投資判断に重大な影響を与えると判断できる事象が生じた場合には、定期的な見直しとは別に保有銘柄の売却などを行ってまいります。

○内外債券マザーファンド

各国の経済状況や金融市場動向等を分析することにより、通貨別投資比率や国別投資比率、債券の年限比率を調整する方針です。通貨については、市場の織り込み度合いに応じ機動的に対処する方針です。債券については、年限の長い債券の比率を高め維持する方針です。

○Jリート・マザーファンド

個別銘柄の資産内容や信用力、バリュエーションなどを勘案し、個別銘柄の選定やウェイト付けを行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年5月11日～2021年11月10日)

項 目	第93期～第95期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	60	0.610	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(31)	(0.316)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(25)	(0.250)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.038	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.020)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(2)	(0.018)	
(c) そ の 他 費 用	1	0.013	(c) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	65	0.661	
作成期間中の平均基準価額は、9,880円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

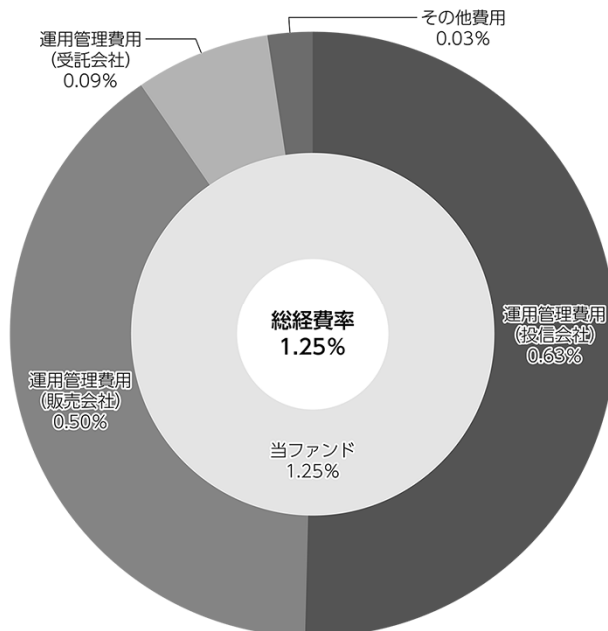
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.25%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年5月11日～2021年11月10日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第93期～第95期			
		設		約	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
福井県関連株マザーファンド		46,646	102,000	54,208	112,000
Jリート・マザーファンド		—	—	14,029	50,000
内外債券マザーファンド		—	—	8,265	15,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2021年5月11日～2021年11月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項	目	第93期～第95期	
		福井県関連株マザーファンド	
(a)	当作成期中の株式売買金額	240,627千円	
(b)	当作成期中の平均組入株式時価総額	403,749千円	
(c)	売買高比率 (a) / (b)	0.59	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年5月11日～2021年11月10日)

利害関係人との取引状況

<福井県応援ファンド>

該当事項はございません。

<福井県関連株マザーファンド>

該当事項はございません。

<内外債券マザーファンド>

該当事項はございません。

福井県応援ファンド

<Jリート・マザーファンド>

区 分	第93期～第95期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 3,229	百万円 291	% 9.0	百万円 6,084	百万円 419	% 6.9

平均保有割合 2.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第93期～第95期
売買委託手数料総額 (A)	607千円
うち利害関係人への支払額 (B)	23千円
(B) / (A)	3.9%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2021年11月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第92期末	第95期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
福井県関連株マザーファンド	217,951	210,388	448,885
Jリート・マザーファンド	135,906	121,876	427,458
内外債券マザーファンド	383,673	375,408	695,556

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年11月10日現在)

項 目	第95期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
福井県関連株マザーファンド	448,885	27.7
Jリート・マザーファンド	427,458	26.3
内外債券マザーファンド	695,556	42.9
コール・ローン等、その他	51,245	3.1
投資信託財産総額	1,623,144	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 内外債券マザーファンドにおいて、作成期間末における外貨建純資産(1,974,425千円)の投資信託財産総額(2,460,135千円)に対する比率は80.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=112.86円、1カナダドル=90.70円、1ユーロ=130.83円、1イギリスポンド=152.97円、1オーストラリアドル=83.21円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第93期末	第94期末	第95期末
	2021年7月12日現在	2021年9月10日現在	2021年11月10日現在
	円	円	円
(A) 資産	1,649,225,603	1,631,415,522	1,623,144,991
コール・ローン等	30,391,392	108,437,577	51,244,809
福井県関連株マザーファンド(評価額)	457,304,888	397,844,145	448,885,285
Jリート・マザーファンド(評価額)	447,385,023	439,938,356	427,458,181
内外債券マザーファンド(評価額)	684,144,300	685,195,444	695,556,716
未収入金	30,000,000	—	—
(B) 負債	15,243,167	12,602,855	14,282,294
未払収益分配金	8,199,070	8,117,636	8,221,357
未払解約金	3,597,877	1,247,802	2,768,430
未払信託報酬	3,414,908	3,207,556	3,262,199
未払利息	29	15	50
その他未払費用	31,283	29,846	30,258
(C) 純資産総額(A-B)	1,633,982,436	1,618,812,667	1,608,862,697
元本	1,639,814,173	1,623,527,335	1,644,271,545
次期繰越損益金	△ 5,831,737	△ 4,714,668	△ 35,408,848
(D) 受益権総口数	1,639,814,173口	1,623,527,335口	1,644,271,545口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,964円	9,971円	9,785円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第93期5,831,737円、第94期4,714,668円、第95期35,408,848円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第93期0.9964円、第94期0.9971円、第95期0.9785円です。

(注) 当ファンドの第93期首元本額は1,679,115,476円、第93~95期中追加設定元本額は127,001,849円、第93~95期中一部解約元本額は161,845,780円です。

○損益の状況

項 目	第93期	第94期	第95期
	2021年5月11日～ 2021年7月12日	2021年7月13日～ 2021年9月10日	2021年9月11日～ 2021年11月10日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,360	△ 5,303	△ 2,066
受取利息	9	136	46
支払利息	△ 1,369	△ 5,439	△ 2,112
(B) 有価証券売買損益	39,907,236	12,390,384	△ 18,756,537
売買益	40,414,114	21,644,182	10,632,683
売買損	△ 506,878	△ 9,253,798	△ 29,389,220
(C) 信託報酬等	△ 3,446,356	△ 3,237,708	△ 3,292,702
(D) 当期損益金(A+B+C)	36,459,520	9,147,373	△ 22,051,305
(E) 前期繰越損益金	80,540,855	105,156,603	104,280,805
(F) 追加信託差損益金	△114,633,042	△110,901,008	△109,416,991
(配当等相当額)	(126,030,300)	(127,416,270)	(132,353,756)
(売買損益相当額)	(△240,663,342)	(△238,317,278)	(△241,770,747)
(G) 計(D+E+F)	2,367,333	3,402,968	△ 27,187,491
(H) 収益分配金	△ 8,199,070	△ 8,117,636	△ 8,221,357
次期繰越損益金(G+H)	△ 5,831,737	△ 4,714,668	△ 35,408,848
追加信託差損益金	△114,633,042	△110,901,008	△109,416,991
(配当等相当額)	(126,054,040)	(127,436,062)	(132,394,320)
(売買損益相当額)	(△240,687,082)	(△238,337,070)	(△241,811,311)
分配準備積立金	108,801,305	106,186,340	98,758,117
繰越損益金	—	—	△ 24,749,974

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第93期	第94期	第95期
(a) 配当等収益(費用控除後)	4,315,005円	4,181,881円	2,698,669円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	32,144,515円	4,965,492円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	126,054,040円	127,436,062円	132,394,320円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	80,540,855円	105,156,603円	104,280,805円
分配対象収益(a+b+c+d)	243,054,415円	241,740,038円	239,373,794円
分配対象収益(1万口当たり)	1,482円	1,488円	1,455円
分配金額	8,199,070円	8,117,636円	8,221,357円
分配金額(1万口当たり)	50円	50円	50円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第93期	第94期	第95期
1 万口当たり分配金 (税引前)	50円	50円	50円
支払開始日	各決算日から起算して5 営業日までの間に支払いを開始します。		
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店		

〈お知らせ〉

・当ファンドでは、ファンドから收受した信託報酬の中から、日々の投資信託財産の純資産総額に年率0.15%を乗じて得た金額を、日本赤十字社福井県支部の活動資金として寄附を行うことしております。なお、当作成期末における寄附の原資の合計は2,192,009円となっております。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2021年11月10日現在）

<内外債券マザーファンド>

下記は、内外債券マザーファンド全体(1,294,637千円)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第95期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	300,000	301,790	12.6	—	8.4	—	4.2
合 計	300,000	301,790	12.6	—	8.4	—	4.2

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第95期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第428回利付国債（2年）	0.005	100,000	100,226	2023/9/1
第363回利付国債（10年）	0.1	100,000	100,574	2031/6/20
第71回利付国債（30年）	0.7	100,000	100,990	2051/6/20
合 計		300,000	301,790	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第95期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 8,100	千米ドル 8,474	千円 956,444	% 39.9	% —	% 18.4	% 7.7	% 13.8
カナダ	千カナダドル 1,000	千カナダドル 941	85,410	3.6	—	1.7	1.8	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	700	857	112,181	4.7	—	4.7	—	—
イタリア	2,765	2,898	379,171	15.8	—	9.1	6.7	—
フランス	1,500	1,747	228,606	9.5	—	8.1	—	1.4
イギリス	千イギリスポンド 900	千イギリスポンド 983	150,383	6.3	—	5.5	0.7	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 500	千オーストラリアドル 541	45,056	1.9	—	1.9	—	—
合 計	—	—	1,957,254	81.6	—	49.4	17.0	15.2

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

福井県応援ファンド

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第95期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	国債証券	US TREASURY N/B 0.125	0.125	1,850	1,850	208,831	2022/6/30
		US TREASURY N/B 0.125	0.125	500	495	55,931	2024/2/15
		US TREASURY N/B 0.25	0.25	500	495	55,878	2024/6/15
		US TREASURY N/B 0.625	0.625	600	563	63,610	2030/5/15
		US TREASURY N/B 0.875	0.875	150	148	16,768	2026/9/30
		US TREASURY N/B 1.5	1.5	600	606	68,488	2030/2/15
		US TREASURY N/B 2	2.0	550	572	64,633	2051/8/15
		US TREASURY N/B 2.375	2.375	500	532	60,097	2027/5/15
		US TREASURY N/B 2.375	2.375	1,450	1,635	184,614	2051/5/15
		US TREASURY N/B 6.875	6.875	400	488	55,156	2025/8/15
		US TREASURY N/B 7.125	7.125	1,000	1,084	122,431	2023/2/15
小	計					956,444	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	CANADA-GOV'T 0.5	0.5	500	486	44,095	2025/9/1
		CANADA-GOV'T 0.5	0.5	500	455	41,314	2030/12/1
小	計					85,410	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 0.25	0.25	500	526	68,846	2028/8/15
		DEUTSCHLAND REP 2.5	2.5	200	331	43,335	2046/8/15
イタリア	国債証券	BTPS 0	—	400	402	52,715	2024/4/15
		BTPS 0.6	0.6	865	849	111,130	2031/8/1
		BTPS 1.65	1.65	750	811	106,176	2030/12/1
		BTPS 4.5	4.5	750	834	109,148	2024/3/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.25	1.25	500	568	74,403	2036/5/25
		FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	250	305	39,915	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 1.75	1.75	250	259	33,969	2023/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	500	613	80,318	2030/5/25
小	計					719,959	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 1.625	1.625	500	534	81,724	2028/10/22
		UK TSY GILT 1.75	1.75	300	333	51,074	2037/9/7
		UK TSY GILT 5	5.0	100	114	17,583	2025/3/7
小	計					150,383	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 2.75	2.75	500	541	45,056	2029/11/21
小	計					45,056	
合	計					1,957,254	

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

<Jリート・マザーファンド>

下記は、Jリート・マザーファンド全体(4,686,190千口)の内容です。

国内投資信託証券

銘柄	第92期末		第95期末	
	口数	口数	評価額	比率
	口	口	千円	%
サンケイリアルエステート投資法人 投資証券	1,661	1,084	132,790	0.8
S O S i L A物流リート投資法人 投資証券	857	263	44,815	0.3
東海道リート投資法人 投資証券	—	292	31,565	0.2
日本アコモデーションファンド投資法人 投資証券	569	550	348,700	2.1
森ヒルズリート投資法人 投資証券	2,280	1,677	260,941	1.6
産業ファンド投資法人 投資証券	2,249	1,740	360,528	2.2
アドバンス・レジデンス投資法人 投資証券	1,435	1,117	403,237	2.5
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人 投資証券	1,178	1,136	245,716	1.5
アクティビア・プロバティーズ投資法人 投資証券	872	695	316,225	1.9
G L P投資法人 投資証券	5,380	5,171	953,015	5.8
コンフォリア・レジデンシャル投資法人 投資証券	666	348	112,926	0.7
日本プロロジスリート投資法人 投資証券	2,208	2,094	777,921	4.7
星野リゾート・リート投資法人 投資証券	309	277	203,872	1.2
O n eリート投資法人 投資証券	90	375	112,012	0.7
イオンリート投資法人 投資証券	2,773	2,119	327,597	2.0
ヒューリックリート投資法人 投資証券	1,433	1,330	227,430	1.4
日本リート投資法人 投資証券	211	162	69,417	0.4
インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人 投資証券	5,445	—	—	—
積水ハウス・リート投資法人 投資証券	3,459	4,266	363,889	2.2
トーセイ・リート投資法人 投資証券	1,228	556	73,725	0.4
ケネディクス商業リート投資法人 投資証券	653	576	165,081	1.0
ヘルスケア&メディカル投資法人 投資証券	359	344	55,521	0.3
野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	5,590	4,882	813,829	5.0
ラサールロジポート投資法人 投資証券	2,750	2,077	396,083	2.4
スターアジア不動産投資法人 投資証券	540	1,478	91,340	0.6
マリモ地方創生リート投資法人 投資証券	898	568	75,487	0.5
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人 投資証券	471	573	336,924	2.0
大江戸温泉リート投資法人 投資証券	795	855	70,452	0.4
投資法人みらい 投資証券	1,080	1,578	80,951	0.5
森トラスト・ホテルリート投資法人 投資証券	384	349	48,790	0.3
三菱地所物流リート投資法人 投資証券	697	483	231,840	1.4
C R Eロジスティクスファンド投資法人 投資証券	1,309	581	126,658	0.8
ザイマックス・リート投資法人 投資証券	1,146	670	78,189	0.5
タカラレーベン不動産投資法人 投資証券	—	899	99,339	0.6
日本ビルファンド投資法人 投資証券	1,863	1,538	1,095,056	6.7
ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	1,645	1,441	981,321	6.0
日本都市ファンド投資法人 投資証券	8,047	8,004	812,406	4.9
オリックス不動産投資法人 投資証券	2,947	3,219	585,214	3.6
日本プライムリアルティ投資法人 投資証券	899	767	318,305	1.9
N T T都市開発リート投資法人 投資証券	1,095	926	140,937	0.9
東急リアル・エステート投資法人 投資証券	1,167	614	116,046	0.7
グローバル・ワン不動産投資法人 投資証券	2,151	1,702	201,857	1.2
ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	2,981	3,937	561,022	3.4
インヴェンシブル投資法人 投資証券	7,229	7,080	307,626	1.9

福井県応援ファンド

銘 柄	第92期末		第95期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率	
		口	千円	%	
フロンティア不動産投資法人 投資証券	900	534	272,340	1.7	
平和不動産リート投資法人 投資証券	474	187	29,546	0.2	
日本ロジスティクスファンド投資法人 投資証券	774	796	263,476	1.6	
福岡リート投資法人 投資証券	1,761	1,337	226,086	1.4	
ケネディクス・オフィス投資法人 投資証券	388	399	282,891	1.7	
いちごオフィスリート投資法人 投資証券	3,046	1,379	118,869	0.7	
大和証券オフィス投資法人 投資証券	516	392	286,944	1.7	
阪急阪神リート投資法人 投資証券	1,290	249	41,906	0.3	
スターツプロシード投資法人 投資証券	695	429	100,772	0.6	
大和ハウスリート投資法人 投資証券	2,725	2,164	703,300	4.3	
ジャパン・ホテル・リート投資法人 投資証券	3,196	2,464	164,595	1.0	
大和証券リビング投資法人 投資証券	2,963	2,385	269,743	1.6	
ジャパンエクセレント投資法人 投資証券	1,860	2,059	287,642	1.8	
合 計	口 数 ・ 金 額	101,587	85,167	16,204,717	
	銘 柄 数 < 比 率 >	55	56	< 98.6% >	

(注) 合計欄の< >内は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

福井県関連株マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

福井県関連株マザーファンド 第16期 運用状況のご報告 決算日：2021年11月10日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		東証株価指数 (TOPIX) (参考指数)		株組入比率	株先物比率	純資産総額
	騰落	率	騰落	率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
12期(2017年11月10日)	19,275	32.5	1,800.44	30.8	94.3	—	308
13期(2018年11月12日)	17,305	△10.2	1,671.95	△7.1	95.2	—	353
14期(2019年11月11日)	17,355	0.3	1,704.03	1.9	92.4	—	480
15期(2020年11月10日)	17,245	△0.6	1,700.80	△0.2	98.1	—	455
16期(2021年11月10日)	21,336	23.7	2,007.96	18.1	98.8	—	448

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 東証株価指数 (TOPIX) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

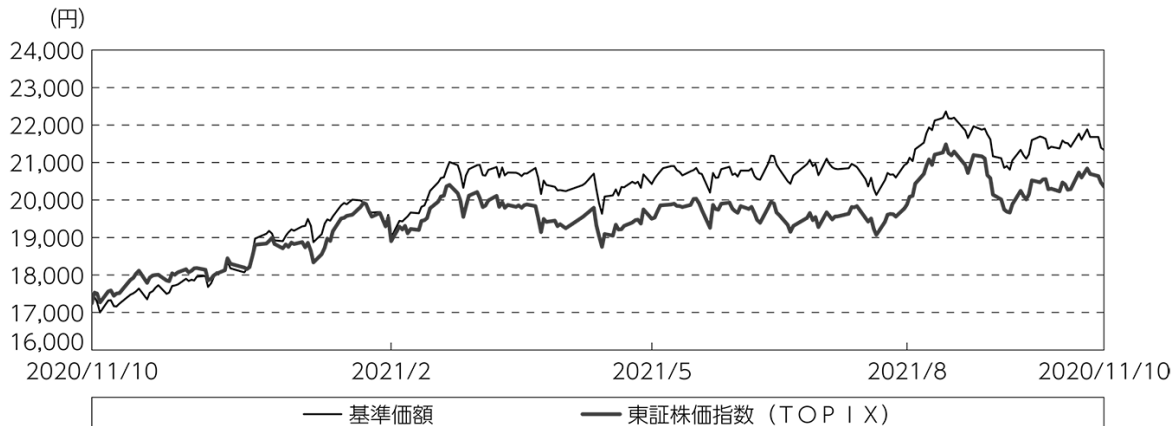
年月日	基準価額		東証株価指数 (TOPIX) (参考指数)		株組入比率	株先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2020年11月10日	円	%	ポイント	%	%	%
	17,245	—	1,700.80	—	98.1	—
11月末	17,351	0.6	1,754.92	3.2	98.1	—
12月末	18,181	5.4	1,804.68	6.1	98.5	—
2021年1月末	18,880	9.5	1,808.78	6.3	99.1	—
2月末	19,005	10.2	1,864.49	9.6	99.1	—
3月末	20,665	19.8	1,954.00	14.9	98.3	—
4月末	20,238	17.4	1,898.24	11.6	98.2	—
5月末	20,428	18.5	1,922.98	13.1	98.1	—
6月末	20,710	20.1	1,943.57	14.3	98.0	—
7月末	20,667	19.8	1,901.08	11.8	99.4	—
8月末	20,977	21.6	1,960.70	15.3	99.4	—
9月末	21,621	25.4	2,030.16	19.4	86.6	—
10月末	21,424	24.2	2,001.18	17.7	98.3	—
(期末) 2021年11月10日	21,336	23.7	2,007.96	18.1	98.8	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年11月11日～2021年11月10日)



(注) 参考指数は、東証株価指数 (TOPIX) です。

(注) 参考指数は、期首 (2020年11月10日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では、電気機器、機械、化学などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、三谷セキサン、日立造船、アシックスなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では、医薬品、陸運業、銀行業などが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、小野薬品工業、西日本旅客鉄道、北陸電力などが基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境

(2020年11月11日～2021年11月10日)

国内株式市場は、米国や英国などにおいて新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことを受けて、世界経済の早期正常化に対する期待が高まり、2020年末にかけて上昇しました。2021年に入ってから、2020年10-12月期の企業業績が事前予想を大きく上回ったことに加え、世界的に新規感染者数が減少に転じ、国内でも医療従事者向けにワクチン接種が始まったことなどから上昇し、日経平均株価は2月中旬に3万円の大台を突破しました。しかしその後は、米国の長期金利が急上昇したほか、国内で新規感染者数が再び増加し東京・大阪などで緊急事態宣言が再発出されたことなどが嫌気され、上値の重い展開が続きました。9月上旬には菅首相が自民党総裁選への不出馬を表明したことで、新政権の打ち出す経済対策への期待から上昇する場面もありましたが、中国の大手不動産企業の資金繰りが懸念されたことや、米連邦公開市場委員会 (FOMC) で、今後の金融政策変更が議論されたことから10月上旬にかけて下落しました。期末にかけては、米国企業の決算が好調だったことや、衆院選で与党が国会を安定的に運営できる絶対安定多数を確保し、投資家の間で政策の持続性に対する期待が高まったことなどから、反発しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年11月11日～2021年11月10日)

福井県に本社または本店がある企業（戦略Ⅰ）、福井県に工場・店舗等があるなど福井県の発展と共に成長が期待される企業や福井県と関わりが深い企業等（戦略Ⅱ）の株式に投資を行いました。戦略Ⅰでは株式時価総額等を勘案して、戦略Ⅱでは株式時価総額、配当利回り等を勘案してポートフォリオを構築しました。

- ・2020年12月末のデータに基づいた半年に一度の定期銘柄見直しでは、西日本旅客鉄道をポートフォリオから外す一方、アシックスを新たに組み入れました。
- ・2021年6月末のデータに基づいた半年に一度の定期銘柄見直しでは、森永乳業、第一稀元素化学工業をポートフォリオから外す一方、西日本旅客鉄道、北陸電力を新たに組み入れました。
- ・定期見直し以外では、被買収により上場廃止見通しとなったサカイオーベックスを売却したほか、株価変動などにより個別の組入比率が定期見直し時の組入比率から乖離した銘柄の比率調整などを行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年11月11日～2021年11月10日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、基準価額の騰落率は参考指数としている東証株価指数（TOPIX）の騰落率を5.6%上回りました。

今後の運用方針

当面の国内株式市場は堅調な推移になると予想します。足元で国内上場企業の業績が着実な回復を続けていることや、バリュエーション面での割高感が乏しいこと、また米国株などと比較して出遅れ感も強いことから、投資資金が流入しやすい環境にあると考えます。また、主力の自動車産業も東南アジアの新型コロナウイルス蔓延による半導体不足といったサプライチェーン停滞から回復し始めており、今後は生産台数の増加による業績回復が国内株式市場の上昇を牽引していくものと考えます。

当ファンドの運用は、福井県に本社または本店がある企業（戦略Ⅰ）、福井県に工場・店舗等があるなど福井県の発展と共に成長が期待される企業や福井県と関わりが深い企業等（戦略Ⅱ）の株式を選別し、戦略Ⅰと戦略Ⅱを組み合わせるポートフォリオを構築していきます。銘柄入替えや投資比率の見直しは半年に一度行い、それ以外は原則として買い持ち戦略を基本とし、資金動向や株価変動に対応して組入比率の調整売買を行う方針です。ただ、投資判断に重大な影響を与えると判断できる事象が生じた場合には、定期的な見直しとは別に保有銘柄の売却などを行ってまいります。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

○1万口当たりの費用明細

(2020年11月11日～2021年11月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 25 (25)	% 0.126 (0.126)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	25	0.126	
期中の平均基準価額は、20,012円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年11月11日～2021年11月10日)

株式

国 内	上場	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
		千株	千円	千株	千円
		87 (6)	158,308 (-)	114	243,916

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2020年11月11日～2021年11月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	402,224千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	426,214千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.94

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年11月11日～2021年11月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	158	—	—	243	18	7.4

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	555千円
うち利害関係人への支払額 (B)	30千円
(B) / (A)	5.6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2021年11月10日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)			当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円			
建設業 (5.3%)						
熊谷組	6.7	5.5	15,158			
北陸電気工事	2.7	3	3,117			
太平電業	2.6	2	5,232			
食料品 (—%)						
森永乳業	2.4	—	—			
繊維製品 (11.5%)						
東洋紡	7.7	7	9,254			
東レ	28.5	20	13,998			
サカイオーベックス	1.2	—	—			
セーレン	9	7.7	17,594			
ワコールホールディングス	5.2	4.7	10,269			
パルプ・紙 (2.4%)						
レンゴー	12.8	13	10,686			

銘 柄	期首(前期末)			当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円			
化学 (9.9%)						
信越化学工業	1.3	1	19,870			
田中化学研究所	4.1	3.7	5,394			
第一稀元素化学工業	3.1	—	—			
日華化学	3	2.8	2,483			
日東電工	2.3	1.7	14,535			
フクビ化学工業	3.7	2.6	1,684			
医薬品 (3.4%)						
小野薬品工業	4.8	6.3	15,192			
ガラス・土石製品 (4.2%)						
三谷セキサン	3.7	2.5	18,725			
鉄鋼 (1.7%)						
淀川製鋼所	4.4	3.1	7,486			
機械 (6.5%)						
ソディック	7.3	6.9	5,996			

福井県関連株マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
栗田工業	4.1	2.3	13,271	
日立造船	20.1	11.6	9,720	
電気機器 (22.3%)				
デンヨー	2.5	2.2	4,314	
芝浦メカトロニクス	0.7	0.6	4,638	
日本電産	1.9	1.4	17,927	
パナソニック	16.2	11.7	16,146	
帝国通信工業	1.1	1.1	1,464	
村田製作所	2.3	2	16,850	
ニチコン	9.2	8.6	9,752	
キャノン	9.5	6	15,396	
リコー	16.9	11.2	12,252	
輸送用機器 (3.9%)				
アイシン	4.4	3.9	15,873	
松屋アールアンドディ	0.4	0.8	1,240	
その他製品 (6.5%)				
前田工織	5.2	4.1	14,350	
永大産業	5.6	4.6	1,352	
アシックス	—	4.6	13,298	
電気・ガス業 (8.0%)				
関西電力	13.6	12.7	13,347	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
北陸電力	—	19.8	10,533	
電源開発	7.1	8.1	11,680	
陸運業 (4.6%)				
西日本旅客鉄道	3.1	2.7	14,528	
ハマキョウレックス	2.4	1.9	5,823	
情報・通信業 (2.3%)				
KYCOMホールディングス	0.6	0.6	345	
福井コンピュータホールディングス	2.8	2.5	9,937	
卸売業 (4.0%)				
三谷商事	1.3	9.9	17,532	
小売業 (2.6%)				
ユニフォームネクスト	0.4	0.4	656	
PLANT	1.1	1.1	797	
Genky DrugStores	2.4	1.9	9,937	
銀行業 (0.9%)				
福井銀行	3.8	2.7	4,020	
合 計	株 数・金 額	255	234	443,663
	銘柄数<比率>	46	45	<98.8%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 443,663	% 98.8
コール・ローン等、その他	5,218	1.2
投資信託財産総額	448,881	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年11月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	448,881,440
コール・ローン等	2,294,190
株式(評価額)	443,663,650
未収配当金	2,923,600
(B) 負債	107
未払利息	2
その他未払費用	105
(C) 純資産総額(A-B)	448,881,333
元本	210,388,679
次期繰越損益金	238,492,654
(D) 受益権総口数	210,388,679口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,336円

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.1336円です。
(注) 当ファンドの期首元本額は264,334,420円、期中追加設定元本額は46,646,038円、期中一部解約元本額は100,591,779円です。
(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
福井県応援ファンド

210,388,679円

○損益の状況 (2020年11月11日～2021年11月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	9,112,155
受取配当金	9,113,400
受取利息	67
その他収益金	150
支払利息	△ 1,462
(B) 有価証券売買損益	81,920,199
売買益	97,845,326
売買損	△ 15,925,127
(C) その他費用等	△ 398
(D) 当期損益金(A+B+C)	91,031,956
(E) 前期繰越損益金	191,514,957
(F) 追加信託差損益金	55,353,962
(G) 解約差損益金	△ 99,408,221
(H) 計(D+E+F+G)	238,492,654
次期繰越損益金(H)	238,492,654

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。

内外債券マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

内外債券マザーファンド 第16期 運用状況のご報告 決算日：2020年12月7日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債、政府保証債等）を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債、政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
12期(2016年12月5日)	15,940	△8.4	403.16	△4.9	89.5	—	2,911
13期(2017年12月5日)	16,748	5.1	424.03	5.2	90.8	—	2,813
14期(2018年12月5日)	16,395	△2.1	415.85	△1.9	89.3	—	2,934
15期(2019年12月5日)	17,041	3.9	430.96	3.6	98.0	—	2,917
16期(2020年12月7日)	17,617	3.4	449.75	4.4	97.3	—	2,283

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2019年12月 5 日	円 17,041	% —	ポイント 430.96	% —	% 98.0	% —
12月末	17,187	0.9	433.70	0.6	95.4	—
2020年1月末	17,184	0.8	436.15	1.2	98.5	—
2月末	17,297	1.5	443.48	2.9	98.5	—
3月末	17,754	4.2	439.41	2.0	95.7	—
4月末	17,600	3.3	433.84	0.7	93.7	—
5月末	17,689	3.8	439.57	2.0	89.1	—
6月末	17,929	5.2	444.88	3.2	96.3	—
7月末	17,979	5.5	449.00	4.2	96.3	—
8月末	17,828	4.6	447.34	3.8	81.2	—
9月末	17,923	5.2	449.36	4.3	80.1	—
10月末	17,584	3.2	444.22	3.1	96.5	—
11月末	17,692	3.8	448.09	4.0	97.3	—
(期 末) 2020年12月 7 日	円 17,617	% 3.4	ポイント 449.75	% 4.4	% 97.3	% —

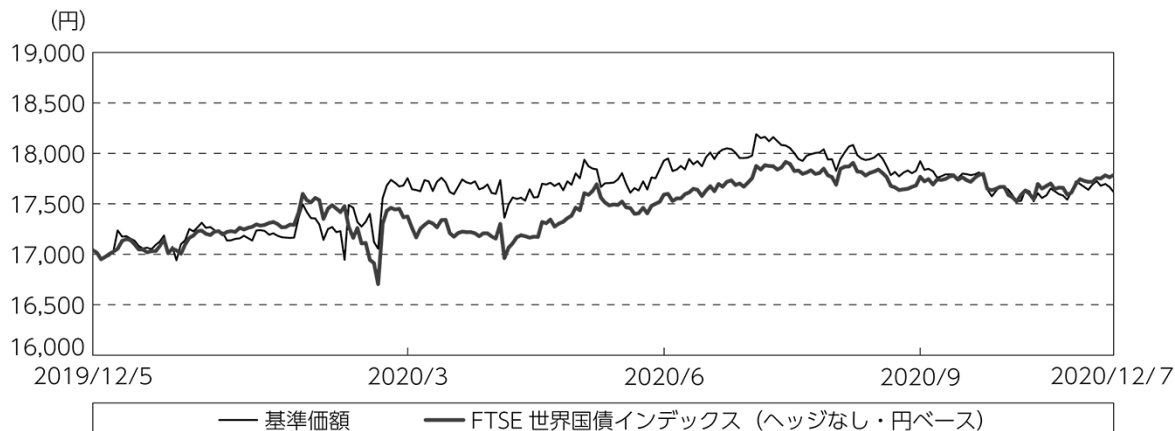
(注) 騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年12月6日～2020年12月7日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

(注) ベンチマークは、期首（2019年12月5日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米国債やユーロ圏の国債の利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。
- ・ユーロやオーストラリアドルが対円で上昇したことがプラスとなりました。

(主なマイナス要因)

- ・米ドルやイギリスポンドが対円で下落したことがマイナスとなりました。
- ・オーストラリア国債の利回りが低下したものの、売買タイミングの影響により、マイナスとなりました。

投資環境

(2019年12月6日～2020年12月7日)

債券市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的な景気悪化を背景に、投資国の中央銀行が大規模な金融緩和策を実施したことを受けて、投資国の債券利回りが低下しました。

為替市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、世界的に株価が急落するなど、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、2020年3月にかけて、主要通貨が対円で急落する展開となりました。しかしその後、世界各国が大規模な金融緩和策や財政政策を実施すると、世界的な株価の反発とともに、米ドルを除く主要通貨が対円で戻り歩調を辿りました。米ドルについては、中央銀行が大規模なドル資金供給を実施したことや、米国の財政悪化に対する懸念を背景に、対円で軟調に推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年12月6日～2020年12月7日)

(債券組入比率)

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

(通貨別投資比率)

米ドル、ユーロ、イギリスポンド、カナダドル、オーストラリアドル、円の6通貨に分散投資し、相場動向に対応して、それぞれの投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間はイギリスポンド、カナダドル、オーストラリアドルの比率を引き下げ一方、米ドルの比率を引き上げました。また、米ドルの比率を高位で維持しました。

(国別投資比率および年限別投資配分)

アメリカ、カナダ、オーストラリア、ドイツ、フランス、イタリア、イギリス、日本の国債に投資を行いました。また、当期間におきましては、イギリス国債、カナダ国債、オーストラリア国債から、アメリカ国債へシフトしました。また、相場動向に応じて、年限別の投資配分を調整しました。当期間におきましては、比較的年限の短い債券から長い債券へシフトしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年12月6日～2020年12月7日)

当ファンドの騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を1.0%下回りました。円に対して米ドル安が進む中で、米ドルの投資比率を高めていたことがマイナスに影響しました。

今後の運用方針**(投資環境の見通し)**

債券市場につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が残るものの、ワクチンの開発や普及に対する期待が高まりつつあることから、徐々に利回りが上昇すると予想されます。

為替市場については、新型コロナウイルスのワクチンの開発や普及が進展すると見込まれるため、世界的な景気回復期待の高まりとともに、投資通貨が対円で底堅く推移すると予想します。

(運用方針)

各国の経済状況や金融市場動向等を分析することにより、通貨別投資比率や国別投資比率、債券の年限比率を調整する方針です。当面は、高めの外貨比率を維持しつつ、金利変動リスクを徐々に落として行く方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年12月6日～2020年12月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.036	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.035)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	6	0.036	
期中の平均基準価額は、17,637円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2019年12月6日～2020年12月7日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 302,226	千円 302,305
	外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 26,086
カナダ		国債証券	千カナダドル 6,021	千カナダドル 9,760 (800)
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ
ドイツ		国債証券	—	636
イタリア		国債証券	2,374	2,477
フランス		国債証券	—	1,826
イギリス		国債証券	千イギリスポンド 1,200	千イギリスポンド 2,718
オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 9,341	千オーストラリアドル 13,532	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月6日～2020年12月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	4,732	—	—	5,337	151	2.8

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2020年12月7日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 10,300	千米ドル 10,894	千円 1,133,892	% 49.7	% —	% 42.0	% 7.6	% —
カナダ	千カナダドル 300	千カナダドル 400	32,602	1.4	—	1.4	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	2,200	2,632	332,370	14.6	—	7.8	6.7	—
イタリア	1,100	1,203	151,973	6.7	—	6.1	0.6	—
フランス	1,500	1,806	228,085	10.0	—	7.1	2.9	—
イギリス	千イギリスポンド 900	千イギリスポンド 1,023	142,977	6.3	—	5.5	0.7	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 2,500	千オーストラリアドル 2,580	199,581	8.7	—	8.7	—	—
合 計	—	—	2,221,482	97.3	—	78.7	18.6	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

内外債券マザーファンド

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	国債証券	US TREASURY N/B 0.625	0.625	1,200	1,166	121,383	2030/5/15
		US TREASURY N/B 0.625	0.625	1,800	1,744	181,577	2030/8/15
		US TREASURY N/B 1.25	1.25	1,800	1,595	166,092	2050/5/15
		US TREASURY N/B 1.5	1.5	600	631	65,707	2030/2/15
		US TREASURY N/B 2	2.0	600	638	66,438	2050/2/15
		US TREASURY N/B 2.375	2.375	900	1,000	104,129	2027/5/15
		US TREASURY N/B 2.875	2.875	800	926	96,378	2028/8/15
		US TREASURY N/B 2.875	2.875	1,200	1,520	158,247	2049/5/15
		US TREASURY N/B 6.875	6.875	400	520	54,124	2025/8/15
		US TREASURY N/B 7.125	7.125	1,000	1,151	119,813	2023/2/15
小	計					1,133,892	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	CANADA-GOV'T 2.75	2.75	300	400	32,602	2048/12/1
小	計					32,602	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 0.25	0.25	1,000	1,071	135,312	2028/8/15
		DEUTSCHLAND REP 2.5	2.5	200	341	43,136	2046/8/15
		DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	1,000	1,219	153,921	2024/1/4
イタリア	国債証券	BTPS 0.05	0.05	100	100	12,746	2023/1/15
		BTPS 1.65	1.65	1,000	1,102	139,227	2030/12/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.75	1.75	500	530	66,962	2023/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	1,000	1,276	161,122	2030/5/25
小	計					712,429	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 1.625	1.625	500	555	77,607	2028/10/22
		UK TSY GILT 1.75	1.75	300	346	48,429	2037/9/7
		UK TSY GILT 5	5.0	100	121	16,940	2025/3/7
小	計					142,977	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1	1.0	2,000	2,000	154,704	2030/12/21
		AUSTRALIAN GOVT. 2.75	2.75	500	580	44,876	2029/11/21
小	計					199,581	
合	計					2,221,482	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年12月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,221,482	% 97.3
コール・ローン等、その他	61,850	2.7
投資信託財産総額	2,283,332	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (2,244,602千円) の投資信託財産総額 (2,283,332千円) に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=104.08円、1カナダドル=81.45円、1ユーロ=126.25円、1イギリスポンド=139.74円、1オーストラリアドル=77.33円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月7日現在)

○損益の状況 (2019年12月6日～2020年12月7日)

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,283,332,261 円
コール・ローン等	45,108,226
公社債(評価額)	2,221,482,663
未収利息	15,838,935
前払費用	902,437
(B) 負債	445
未払利息	27
その他未払費用	418
(C) 純資産総額(A-B)	2,283,331,816
元本	1,296,063,805
次期繰越損益金	987,268,011
(D) 受益権総口数	1,296,063,805口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,617円

項 目	当 期
(A) 配当等収益	49,519,519 円
受取利息	49,569,374
支払利息	△ 49,855
(B) 有価証券売買損益	34,510,913
売買益	183,816,188
売買損	△ 149,305,275
(C) その他費用等	△ 845,484
(D) 当期損益金(A+B+C)	83,184,948
(E) 前期繰越損益金	1,205,395,911
(F) 追加信託差損益金	56,757,017
(G) 解約差損益金	△ 358,069,865
(H) 計(D+E+F+G)	987,268,011
次期繰越損益金(H)	987,268,011

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.7617円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は1,711,854,813円、期中追加設定元本額は73,242,983円、期中一部解約元本額は489,033,991円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

香川県応援ファンド	497,834,808円
三重県応援ファンド	406,451,653円
福井県応援ファンド	391,777,344円

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

該当事項はございません。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

Ｊリート・マザーファンド
 第16期 運用状況のご報告
 決算日：2020年11月20日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の金融商品取引所に上場している（上場予定を含みます。）不動産投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所に上場している（上場予定を含みます。）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		東証REIT指数(配当込み)		投資信託証券組入比率	純資産額
	期騰落	中率	(参考指数)	期騰落		
	円	%	ポイント	%	%	百万円
12期（2016年11月21日）	24,201	1.9	3,171.21	2.2	97.7	23,319
13期（2017年11月20日）	24,545	1.4	3,174.87	0.1	98.0	18,546
14期（2018年11月20日）	27,445	11.8	3,557.98	12.1	98.2	16,902
15期（2019年11月20日）	34,887	27.1	4,592.90	29.1	98.3	18,730
16期（2020年11月20日）	27,607	△20.9	3,608.53	△21.4	98.3	15,859

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 東証REIT指数（配当込み）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		東証REIT指数(配当込み)		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期 首) 2019年11月20日	円 34,887	% —	ポイント 4,592.90	% —	% 98.3
11月末	34,844	△ 0.1	4,584.30	△ 0.2	98.3
12月末	33,858	△ 2.9	4,450.34	△ 3.1	96.4
2020年1月末	35,034	0.4	4,608.85	0.3	97.0
2月末	32,160	△ 7.8	4,218.40	△ 8.2	97.8
3月末	25,464	△27.0	3,343.59	△27.2	97.6
4月末	25,222	△27.7	3,313.25	△27.9	98.5
5月末	27,318	△21.7	3,586.37	△21.9	98.4
6月末	26,825	△23.1	3,525.99	△23.2	98.5
7月末	26,896	△22.9	3,535.10	△23.0	98.1
8月末	28,523	△18.2	3,735.15	△18.7	98.2
9月末	28,255	△19.0	3,698.94	△19.5	98.0
10月末	26,854	△23.0	3,512.43	△23.5	97.0
(期 末) 2020年11月20日	27,607	△20.9	3,608.53	△21.4	98.3

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年11月21日～2020年11月20日)



(注) 参考指数は、東証REIT指数 (配当込み) です。

(注) 参考指数は、期首 (2019年11月20日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・日本プロロジスリート投資法人、GLP投資法人、日本ロジスティクスファンド投資法人などがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・ジャパンリアルエステイト投資法人、日本ビルファンド投資法人、ユナイテッド・アーバン投資法人などがマイナスに影響しました。

投資環境

(2019年11月21日～2020年11月20日)

Jリート市場は、長期金利の上昇や公募増資の集中による需給悪化から2020年1月上旬にかけて下落したものの、長期金利が低下に転じたことなどから2月中旬にかけて上昇しました。しかし、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念や3月決算を控えた機関投資家による売りなどから3月中旬にかけて急落しました。その後は、急落の反動に加え、経済活動再開期待や、金融・財政政策を受けて国内外のリスク資産が上昇したことを背景に6月上旬にかけて戻りを試す動きとなりました。しかしそれ以降は、感染再拡大への懸念や、東京のオフィス市況の悪化を示す指標が示されたことなどから、上値の重い動きが期末にかけて続きました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年11月21日～2020年11月20日)

当ファンドの運用につきましては、高位の組入比率を概ね維持しました。セクターにつきましては、当初は割安さが後退したと判断した商業特化型リートの比率を引き下げ、オフィス特化型や物流・インフラ施設特化型リートの比率を引き上げました。新型コロナウイルスの感染拡大を背景に下落する場面では、ホテル特化型リートの比率を引き下げ、住宅特化型リートの比率を引き上げました。その後市場全体が戻りを試す局面では、底堅い業績と比較して割安と思われる複合型・総合型リートの買い増しを行いました。当期末時点では、物流・インフラ施設特化型リートを東証の時価総額の構成比に対してアンダーウェイトとする一方、複合型・総合型やオフィス特化型リートをオーバーウェイトとしています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年11月21日～2020年11月20日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としている東証REIT指数（配当込み）の騰落率を0.5%上回りました。詳細につきましては前掲の「基準価額の主な変動要因」をご参照ください。

今後の運用方針

今後のJリート市場につきましては、新型コロナウイルスの感染状況や治療薬・ワクチン開発の進展によって上下に振れる場面もあるものの、底堅く推移すると予想します。新型コロナウイルスによる業績への影響は不透明な部分が残りますが、直接的に影響を受けるホテル系や商業系などのセクターはJリート市場に占める割合が比較的低いことから、市場全体の下げ幅は限定的になると見ています。一方で、バリュエーション面では長期平均と比較して割安な水準にあることに加え、足元では日本株と比較しても割安感が強まっています。そのため、割安さに着目した資金の流入が期待され、中長期的には底堅く推移すると考えます。

当ファンドの運用につきましては、株式会社三井住友トラスト基礎研究所から提供される不動産市場全体とJリートに関する調査・分析情報等の助言を参考に個別銘柄の資産内容や信用力、バリュエーションなどを勘案し、個別銘柄の選定やウェイト付けを行います。

当面は、保有物件の賃料増額などによる内部成長が期待できる銘柄や、投資口価格の割安感が強いと考えられる銘柄などを東証の時価総額の構成比に対してオーバーウェイトとする方針です。一方、投資口価格の割安感が乏しいと考えられる銘柄などは、アンダーウェイトとする方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月21日～2020年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	37 (37)	0.125 (0.125)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	37	0.125	
期中の平均基準価額は、29,271円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2019年11月21日～2020年11月20日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付		
	口 数	金 額	口 数	金 額	
		千円		千円	
国	サンケイリアルエステート投資法人 投資証券	155	15,455	1,487	142,107
	SOSiLA物流リート投資法人 投資証券	852	97,344	220	24,578
	日本アコモデーションファンド投資法人 投資証券	50	24,744	143	92,993
	MCUBS MidCity投資法人 投資証券	1,914	169,979	1,430	112,871
	森ヒルズリート投資法人 投資証券	917	123,276	771	108,486
	産業ファンド投資法人 投資証券	594	93,770	372	64,883
	アドバンス・レジデンス投資法人 投資証券	606	205,110	118	37,274
	ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人 投資証券	609	118,291	822	156,670
	アクティビア・プロパティーズ投資法人 投資証券	565	229,116	316	119,310
	GLP投資法人 投資証券	2,652	401,004	266	40,672
	コンフォリア・レジデンシャル投資法人 投資証券	571 (38)	186,716 (12,628)	701	232,291
	コンフォリア・レジデンシャル投資法人 投資証券	38 (△ 38)	12,628 (△ 12,628)	—	—
	日本プロジスリート投資法人 投資証券	1,214	363,584	413	139,567
	星野リゾート・リート投資法人 投資証券	17	7,698	302	152,545
	Oneリート投資法人 投資証券	269	76,983	109	26,348
	イオンリート投資法人 投資証券	817	98,813	897	131,536
	ヒューリックリート投資法人 投資証券	1,449	195,920	1,198	187,292
	日本リート投資法人 投資証券	401	131,516	181	65,165
	インバスコ・オフィス・ジェリート投資法人 投資証券	14,426	269,818	9,528	134,286
	内	日本ヘルスケア投資法人 投資証券	—	—	150
積水ハウス・リート投資法人 投資証券		1,642	129,101	1,154	82,306
トーセイ・リート投資法人 投資証券		839	92,731	291	30,547
ケネディクス商業リート投資法人 投資証券		1,011	198,292	822	182,269
ヘルスケア&メディカル投資法人 投資証券		177	20,529	—	—

Ｊリート・マザーファンド

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国	サムティ・レジデンシャル投資法人 投資証券	354	35,384	354	31,006
	野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	2,022	284,871	1,053	135,607
	いちごホテルリート投資法人 投資証券	—	—	276	36,932
	ラサールレジポート投資法人 投資証券	(231 323)	(31,845 57,066)	662	107,756
	ラサールレジポート投資法人 投資証券	(△ 323 323)	(△ 57,066 57,066)	—	—
	三井不動産ロジスティクスパーク投資法人 投資証券	(327 44)	(161,451 21,812)	166	81,337
	三井不動産ロジスティクスパーク投資法人 投資証券	(△ 44 44)	(△ 21,812 21,812)	—	—
	大江戸温泉リート投資法人 投資証券	—	—	1,316	114,197
	投資法人みらい 投資証券	1,029	57,128	1,940	73,684
	森トラスト・ホテルリート投資法人 投資証券	—	—	911	100,705
	三菱地所物流リート投資法人 投資証券	357	139,172	375	145,659
	CREロジスティクスファンド投資法人 投資証券	1,326	200,149	644	65,503
	ザイマックス・リート投資法人 投資証券	559	51,013	647	66,912
	タカラレーベン不動産投資法人 投資証券	300	24,917	300	26,666
	伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人 投資証券	781	108,424	1,149	124,989
	日本ビルファンド投資法人 投資証券	707	445,766	249	162,650
	ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	490	305,384	257	153,309
	日本リートールファンド投資法人 投資証券	1,418	223,233	1,083	209,560
	オリックス不動産投資法人 投資証券	1,090	192,867	548	88,150
	日本プライムリアルティ投資法人 投資証券	937	338,575	339	116,860
プレミア投資法人 投資証券	1,335	179,127	1,582	203,509	
東急リアル・エステート投資法人 投資証券	421	68,816	387	74,865	
グローバル・ワン不動産投資法人 投資証券	906	91,651	1,230	131,397	
ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	1,474	196,133	1,075	115,558	
森トラスト総合リート投資法人 投資証券	1,126	206,241	329	50,539	
インヴェンシブル投資法人 投資証券	4,879	275,566	2,722	102,928	
フロンティア不動産投資法人 投資証券	146	55,635	432	178,294	
平和不動産リート投資法人 投資証券	936	106,035	1,139	118,750	
日本ロジスティクスファンド投資法人 投資証券	93	25,554	647	187,517	
福岡リート投資法人 投資証券	1,631	228,777	1,347	206,976	
ケネディクス・オフィス投資法人 投資証券	249	158,833	310	196,229	
いちごオフィスリート投資法人 投資証券	1,341	152,074	769	52,941	
大和証券オフィス投資法人 投資証券	257	159,417	358	234,600	
阪急阪神リート投資法人 投資証券	931	142,074	657	98,331	
スターツプロシード投資法人 投資証券	388	82,112	323	65,391	
大和ハウスリート投資法人 投資証券	737	199,782	538	142,244	
ジャパン・ホテル・リート投資法人 投資証券	206	13,529	1,814	101,588	
大和証券リビング投資法人 投資証券	1,457	150,212	1,394	141,495	
ジャパンエクセレント投資法人 投資証券	1,286	185,774	921	129,754	
合 計	63,879	8,618,847	51,934	6,669,169	

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日～2020年11月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投 資 信 託 証 券	百万円 8,618	百万円 1,576	% 18.3	百万円 6,669	百万円 2,261	% 33.9

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	20,879千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	6,194千円
(B)／(A)	29.7%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2020年11月20日現在)

国内投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当		期		末	
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
		口		口		千円	%
サンケイリアルエステート投資法人 投資証券	1,765		433			41,654	0.3
SOS i LA物流リート投資法人 投資証券	—		632			78,557	0.5
日本アコモデーションファンド投資法人 投資証券	516		423			248,724	1.6
MCUBS MidCity投資法人 投資証券	1,668		2,152			173,451	1.1
森ヒルズリート投資法人 投資証券	1,249		1,395			188,604	1.2
産業ファンド投資法人 投資証券	1,909		2,131			370,580	2.3
アドバンス・レジデンス投資法人 投資証券	1,298		1,786			542,051	3.4
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人 投資証券	1,198		985			171,488	1.1
アクティビア・プロパティーズ投資法人 投資証券	558		807			314,326	2.0
GLP投資法人 投資証券	2,522		4,908			785,280	5.0
コンフォリア・レジデンシャル投資法人 投資証券	963		871			257,293	1.6
日本プロロジスリート投資法人 投資証券	1,614		2,415			827,137	5.2
星野リゾート・リート投資法人 投資証券	596		311			155,344	1.0
Oneリート投資法人 投資証券	—		160			38,480	0.2
イオンリート投資法人 投資証券	2,328		2,248			271,108	1.7
ヒューリックリート投資法人 投資証券	1,165		1,416			197,815	1.2
日本リート投資法人 投資証券	356		576			197,280	1.2
インバスコ・オフィス・ジェイリート投資法人 投資証券	4,114		9,012			123,464	0.8
日本ヘルスケア投資法人 投資証券	150		—			—	—
積水ハウス・リート投資法人 投資証券	4,275		4,763			356,272	2.2
トーセイ・リート投資法人 投資証券	291		839			88,262	0.6
ケネディクス商業リート投資法人 投資証券	463		652			144,744	0.9
ヘルスケア&メディカル投資法人 投資証券	182		359			45,305	0.3
野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	5,509		6,478			872,586	5.5
いちごホテルリート投資法人 投資証券	276		—			—	—
ラサールロジポート投資法人 投資証券	1,710		1,602			254,077	1.6
マリモ地方創生リート投資法人 投資証券	133		133			14,630	0.1
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人 投資証券	412		617			307,883	1.9
大江戸温泉リート投資法人 投資証券	1,316		—			—	—
投資法人みらい 投資証券	911		—			—	—
森トラスト・ホテルリート投資法人 投資証券	1,295		384			41,318	0.3
三菱地所物流リート投資法人 投資証券	491		473			185,652	1.2
CREロジスティクスファンド投資法人 投資証券	—		682			101,072	0.6
ザイマックス・リート投資法人 投資証券	898		810			73,467	0.5

Ｊリート・マザーファンド

銘 柄	期 首(前期末)		当 期		末	
	口	数	口	数	評 価 額	比 率
伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人 投資証券		口 773		口 405	千円 54,270	% 0.3
日本ビルファンド投資法人 投資証券	1,333		1,791		1,020,870	6.4
ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	1,632		1,865		977,260	6.2
日本リテールファンド投資法人 投資証券	2,970		3,305		535,079	3.4
オリックス不動産投資法人 投資証券	3,100		3,642		552,855	3.5
日本プライムリアルティ投資法人 投資証券	725		1,323		396,238	2.5
プレミアム投資法人 投資証券	1,835		1,588		185,954	1.2
東急リアル・エステート投資法人 投資証券	1,797		1,831		270,621	1.7
グローバル・ワン不動産投資法人 投資証券	2,231		1,907		188,602	1.2
ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	3,394		3,793		457,815	2.9
森トラスト総合リート投資法人 投資証券	471		1,268		159,007	1.0
インヴィンシブル投資法人 投資証券	4,176		6,333		205,822	1.3
フロンティア不動産投資法人 投資証券	654		368		137,632	0.9
平和不動産リート投資法人 投資証券	1,846		1,643		189,602	1.2
日本ロジスティクスファンド投資法人 投資証券	1,450		896		269,696	1.7
福岡リート投資法人 投資証券	1,103		1,387		191,683	1.2
ケネディクス・オフィス投資法人 投資証券	661		600		390,600	2.5
いちごオフィスリート投資法人 投資証券	—		572		40,268	0.3
大和証券オフィス投資法人 投資証券	657		556		353,060	2.2
阪急阪神リート投資法人 投資証券	526		800		98,320	0.6
スターツプロシード投資法人 投資証券	273		338		66,079	0.4
大和ハウスリート投資法人 投資証券	2,385		2,584		626,361	3.9
ジャパン・ホテル・リート投資法人 投資証券	6,658		5,050		257,550	1.6
大和証券リビング投資法人 投資証券	2,175		2,238		201,643	1.3
ジャパンエクセレント投資法人 投資証券	2,030		2,395		295,782	1.9
合 計		口数・金額 86,986		98,931	15,590,590	
		銘柄数<比率> 55		55	<98.3%>	

(注) 合計欄の〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券 等 其 他	15,590,590	98.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	268,818	1.7
投 資 信 託 財 産 総 額	15,859,408	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	15,859,408,676
コール・ローン等	167,534,038
投資証券(評価額)	15,590,590,800
未収配当金	101,283,838
(B) 負債	2,194
未払利息	139
その他未払費用	2,055
(C) 純資産総額(A-B)	15,859,406,482
元本	5,744,611,836
次期繰越損益金	10,114,794,646
(D) 受益権総口数	5,744,611,836口
1万口当たり基準価額(C/D)	27,607円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2,7607円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は5,368,993,391円、期中追加設定元本額は1,054,375,778円、期中一部解約元本額は678,757,333円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

日本Jリートオープン(毎月分配型)	4,663,164,841円
日本Jリートオープン(1年決算型)	263,922,438円
香川県応援ファンド	183,633,229円
リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)	169,611,211円
福井県応援ファンド	152,750,268円
三重県応援ファンド	148,321,232円
くまもと未来応援ファンド(愛称 復興投信)	118,761,259円
ラップ・アプローチ(成長コース)	25,052,343円
ラップ・アプローチ(安定成長コース)	10,452,279円
ラップ・アプローチ(安定コース)	6,755,098円
DC日本Jリートオープン	2,187,638円

○損益の状況 (2019年11月21日～2020年11月20日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	681,641,873
受取配当金	681,728,541
受取利息	1,998
その他収益金	65
支払利息	△ 88,731
(B) 有価証券売買損益	△ 4,780,015,469
売買益	285,854,221
売買損	△ 5,065,869,690
(C) その他費用等	△ 41,477
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 4,098,415,073
(E) 前期繰越損益金	13,361,731,721
(F) 追加信託差損益金	2,036,479,652
(G) 解約差損益金	△ 1,185,001,654
(H) 計(D+E+F+G)	10,114,794,646
次期繰越損益金(H)	10,114,794,646

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。